

特集 ミライへの第一歩



紀 南高等学校では5月2日から6月20日までのうち7日間、2年生の生徒12名が10か所の町内外の事業所で、インターンシップを実施しています。

これは、インターンシップをとおして明確な進路意識や望ましい職業観、勤労観の育成等、キャリア教育を推進することなどを目的として、行っているものです。

紀宝町役場には島田伶菜さん、廣里優得陸さんがインターンシップに訪れ、5月2日と9日の2日間、企画調整課で広報広聴係として、町内各地での取材や記事の作成を行いました。2人は重い一眼レフカメラをしっかりと持つて写真を撮り、緊張しながらも一生懸命インタビューして、記事を作りました。

島田伶菜
紀南高等学校2年生



Profile
特技：絵を描く、耳を動かす
長所：負けず嫌いなところ
挑戦したいこと：
苦手なことに挑戦したい



Profile
特技：友達を作る
長所：明るく元気なところ
挑戦したいこと：
貯金を増やしたい

インターンシップ生紹介



三重県立紀南高等学校
奥藤 達万 教諭

Interview

「さまざまな角度で物事を考えるきっかけに



インターンシップ生を取材

紀南高等学校2年生の植地寿羽さんは5月2日、グリルいなせでインターンシップを行いました。仕事内容は、お客様への料理の提供や店内の掃除で、植地さんがこのインターンシップを選んだ理由は「昔から、飲食店に興味があったため」と話していました。

今回、インターンシップをとおして、学びたいことは「接客の仕方、働くことの大切さを知りたい」と話しており、実際にインターンシップをしてみて、「想像以上に難しかった」と話していました。

紀南高等学校では、2年生の希望する生徒がさまざま職場に行って、どのような仕事があるのかを経験しつつ、物事の見方や視野を広げてもらう、インターンシップを実施しています。

実際に働く人がどういつた想いで仕事をしているのかを知ったうえで、今後の進路選択について考えてもうべききっかけになりました

私たち教員も、生徒がインターンシップを行った後、毎回、生徒が書いた日誌をチェックし、生徒が働くうえで気づいたことを確認しつつ、必要に応じて、異なる視点で考えてほしいと思います。

生徒には、インターンシップをとおして、働く人の仕事との向き合い方や取り組み方を学ぶことで、視野を広げ、多角的に物事や相手のことを考える経験を積んでほしいと思います。

私が作成しました！
取材は、質問とメモを同時にするのが難しかった！



まちかどエクササイズを取材

まちかどエクササイズが5月9日、神内福祉センターで開催されました。内容は、音楽に合わせてのエクササイズやボイストレーニングなどで、このエクササイズには、認知機能の維持・向上、口腔機能や心肺機能の強化に効果があるといわれています。

まちかどエクササイズに10年以上参加している国重さんと小田原さんの2人にお話を伺ったところ、「年代に合っていてやりやすい」や「健康になれるうえに楽しい」と話していました。



Interview

